

設置 (つづき)

設置のしかた

1. 天井に穴を開ける

- 天井穴加工径：φ150 mm ～ φ160 mm
天井板厚 ：5 mm～25 mm
天井裏空間 ：100 mm以上（天井板厚み9.5 mmのとき）
●天井裏空間は天井板厚によって異なります。

2. インピーダンスを設定する

- ① 基板保護カバーを、爪部を内側に寄せて外します。
- ② トランスのインピーダンス表示にしたがって、端子を接続します。

インピーダンス表示	定格入力
1.67 kΩ	6 W
3.3 kΩ	3 W
10 kΩ	1 W

お願い

- インピーダンスを切り換える際、誤ってアッテネーター切換スイッチを動かさないように気をつけてください。

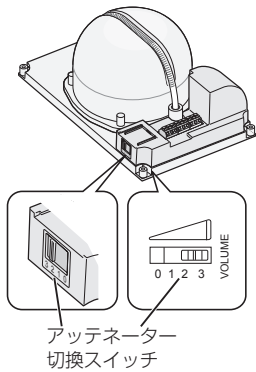
- ③ 基板保護カバーを元通りに取り付けます。

3. アッテネーターを設定する

(WS-TN11、WS-TN12のみ)

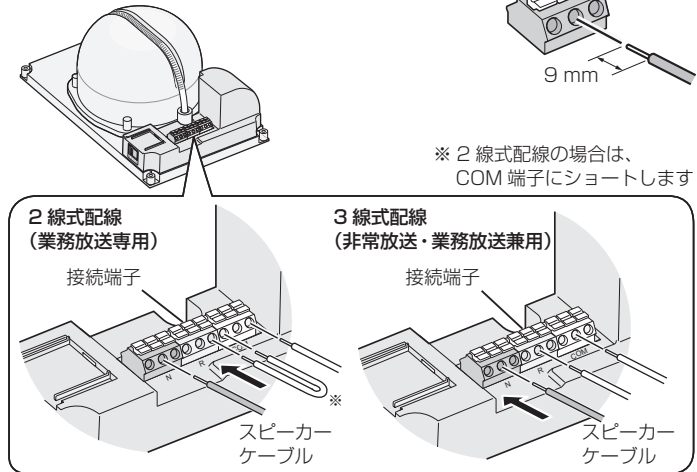
	1 W時	3 W時	6 W時
3	0 dB	−0 dB	−0 dB
2	−3 dB	−6 dB	−9 dB
1	−7 dB	−10 dB	−14 dB
0	−∞	−∞	−∞

※天井板に固定後は、横のスイッチで切り換えます



4. スピーカーに接続する

天井裏に配線されたスピーカーへの接続線を接続します。接続端子の穴の奥まで確実に押し込みます。



重要

- 適合スピーカーケーブルは単線（銅線）φ0.8 mm～φ1.6 mmです。
- スピーカーケーブルの被覆部分は差し込まないでください。

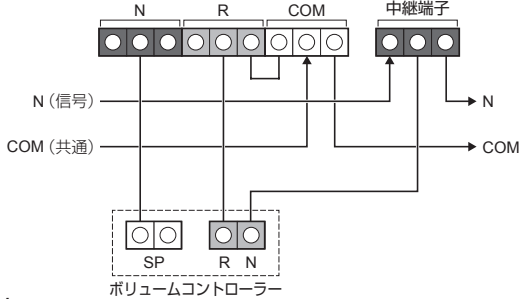
5. 中継端子を取り付ける

中継端子WZ-VC11（別売品）をスピーカーに装着し、ボリュームコントローラーWZ-VCシリーズ（別売品）に接続することにより、音量切換ができます。

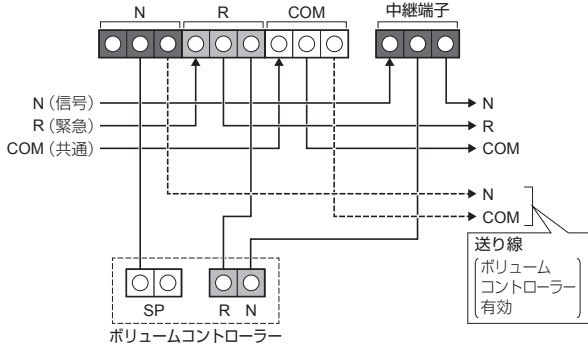
- ① 中継端子をスピーカーに取り付けます。取付方向にご注意ください。

- ② 中継端子のコネクターにケーブルを接続し、ボリュームコントローラーとシステムのN（信号）に接続します。ボリュームコントローラーの接続方法は、ボリュームコントローラーの取扱説明書をお読みください。

●2線式配線



●3線式配線

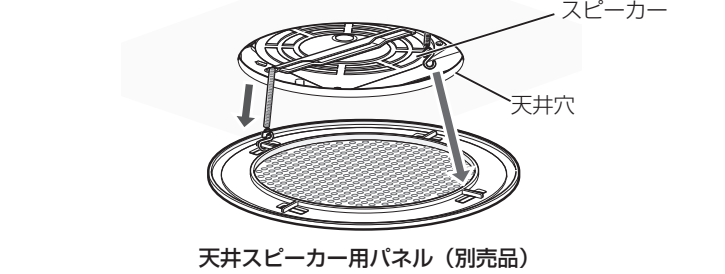


6. スピーカーを天井に設置する

天井穴にスピーカーを通し、穴とスピーカーの中心を合わせて天井板に乗せます。

7. 天井スピーカー用パネルを取り付ける

スピーカーのフックを引き出し、天井スピーカー用パネル（別売品）の穴に引っかけます。



重要

- 本機は、以下の天井スピーカー用パネル（別売品）との組み合わせで消防法の認定を受けています。非常放送に使う場合は必ず以下のパネルを使用してください。WS-TP10、WS-TP11、WS-TP12、WS-TP12-K、WS-TP13、WS-TP14

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電 話 () —
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは異常があるときは、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- 製品名 スピーカーシステム
- 品 番 WS-TN10、WS-TN11
 WS-TN12
- 故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間

7年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 本機を使用せずに放置している。
- 取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。
- 取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。
- 本機および取付部に破損や著しいさびがある。

直ちに使用を中止してください

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に撤去を依頼してください。

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に点検を依頼してください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がある。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、音が出ない。
- その他の異常・故障がある。

直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店または施工業者に点検や撤去を依頼してください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離れた本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。
(ハ) この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
- ご転店の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または、修理ご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記載の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、修理ご相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
(ニ) 指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障及び損傷
(ホ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
(ヘ) 別に指定する磨耗品の部品、その他付属品の故障及び損傷
(ト) 本書のご提示がない場合
(チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(リ) 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費および高所の取外し、取付に要する実費
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
- 修理ご相談窓口は、取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。

※This Warranty is valid only in Japan.